

バイオ実験①

# 自主テーマポスター発表会

「バイオ実験1」では、12月から自主テーマ実験を行いました。それまでに行った7つの実験テーマをもとに、4人から5人のグループで実験テーマを設定し、教員との打ち合わせを通して計画を立てます。さらにこれまでの学生実験とは異なり、必要な試薬や器具を自ら準備して実験を進めるといったものです。実験やデータ整理を夜遅く、さらに冬休みまでかけて行い、新型の大型プリンターを使用してポスター(A1サイズ)を仕上げました。1月12日には、C6号館の4階フロアを利用してポスター発表会を開催し、全26グループの成果を発表しました。ポスターを使って教員や学生に実験結果を説明する姿は真剣そのもので、会場には学会発表以上の熱気が感じられました。発表会の最後には、参加者全員の投票により選ばれた各種ポスター賞の表彰が行われました。記念すべき第一回の最優秀ポスター賞には、伊藤隼さん、伊藤紀善さん、天願ウゴリスさん、都丸透さんのグループの「増殖と死滅の境」(写真1)、大金春奈さん、大野正昭さん、西牧哲郎さん、二宮淳さんのグループの「私たちの体に生きている菌達」(写真2)の二つが選ばれました。優秀ポスター賞、グッドテーマ賞、グッドデザイン賞、ユニークポスター賞は右記の通りで、また学生皆さんに「Germination(=発芽)賞」が贈られました。

学生コメント

「結果が出てそれで終わりにせず、そこからまた実験し結果についてさらなる実験をするのがおもしろいと思った。」

「準備や計画には思った以上に時間がかかり、実験をすれば、さらに次の問題が出てきて終わりがいいことが分かった。」

「他人と話し合うことで、自分では考えつかない考察やアイデアが生まれた。」



(写真1) 最優秀ポスター賞「増殖と死滅の境」



(写真2) 最優秀ポスター賞「私たちの体に生きている菌達」



発表内容を聞く小口学長



ポスター発表風景

《優秀ポスター賞》  
「おーいー☆水」安屋敷和良さん 安藤亜弓さん 瀬川洋平さん 芹澤宏之さん/「ヨーグルト菌の分離」大枝祐樹さん 仲本拓也さん 長嶋久美子さん/「水の硬度の秘密!」狩野安利さん 川上大輔さん 水野貴晴さん 宮口拓也さん/「NBS法によるビタミンCの定量」古原秀美さん 小林貴裕さん 柳館 奨さん 八幡亮太郎さん/「台所常在菌の探索」澤井宏彰さん 島内孟紀さん 渡辺崇史さん 渡邊峻圭さん 緒賀岳太さん  
《グッドテーマ賞》  
「かびるんるんをやっつける!!」阿部真也さん 天野翔太さん 鈴木貴子さん 須田晴子さん/「お茶に迫る」岩見亜紀さん 魚崎祐一さん 中田雄大さん 海尉友哉さん/「お酒の希釈における抗菌試験」井川馨さん 池田亘平さん 太喜さん 高橋 新さん  
《グッドデザイン賞》  
「飲食物の硬度測定」今関優介さん 岩下高太さん 富田隆太さん 富永貴之さん/「お茶と硬度の関係」岡本有紗さん 小黒美季さん 早川 祈さん 原田 侑さん/「河川の硬度 -これが東京の水だ!-」金城飛鳥さん 小岩井絵美さん 矢澤和也さん 谷田部貴之さん  
《ユニークポスター賞》  
「日常の食品のCOD」池田雅志さん 生月俊也さん 田島由昌さん 田中祐太郎さん/「RICE IS LIFE LINE -硬度が起こした奇跡-」岡田知恵さん 岡部義宣さん 野下雄大さん 野島幹之さん/「好きな硬度ってある?」菊池博之さん 北山加奈子さん 森崎 聡さん 森野直孝さん

市村重俊  
講師

## 意欲的な教育の取り組みを発表

12月21日に本学で開催された「ITを活用した教育シンポジウム2006」において、「応用バイオ科学科における情報教育の試み:科目間の連携と動機付け」と題して市村重俊講師が発表を行いました。一年前期の必修科目である「コンピュータプログラミング1」は、単なるコンピュータの操作ではなく、講義や演習だけでは理解しにくい数学や有機化学の概念を、「工学基礎演習」と「バイオのための科学」といった科目と連携することで習得し、定着

させることを狙っています。また、「バイオ基礎実験」「バイオ実験1」との連携により、卒業研究や学会発表を意識した発表会を開催するなどの取り組みを行っており、その内容を紹介しました。この試みに対する学生の反応はおおむね好意的でしたが、反省材料もありました。応用バイオ科学科では11月に教員全員で研修会を行い、前期科目の反省、後期科目の現状、さらに平成19年度への取り組みについて検討しました。今後も、よりよい教育を提供できるよう取り組んでいきます。



## 応用バイオ科学科 ホームページの リニューアル

[http://www.fine7.info/kait\\_bio/](http://www.fine7.info/kait_bio/)

1月10日に、応用バイオ科学科のホームページをリニューアルしました。ホームページでは、応用バイオ科学科の学科概要・特徴、カリキュラム、取得できる資格、就職や進学、研究の紹介、Q&Aなどを紹介しており、応用バイオ科学科をより詳しく知ることができます。Googleなどの検索サイトで、「応用バイオ」や「バイオ科学」をキーワードに検索すると比較的上位にヒットしますので、ぜひ一度ご覧ください。



ホームページアドレス  
[http://www.fine7.info/kait\\_bio/](http://www.fine7.info/kait_bio/)

海外出張報告 アメリカ・サンフランシスコ

## アメリカ化学工学会にて口頭発表

講師 市村重俊

11月12日から17日にかけてアメリカのサンフランシスコで開催されたアメリカ化学工学会(AIChE, American Institute of Chemical Engineering)に参加してきました。会場は、ケーブルカーの折り返し地点として有名なPowell駅近くのヒルトンホテルです。今回は、私が所属している日本の化学工学会と多数のジョイントセッションが企画されていて、私はその中のSustainable Engineeringというセッションで、「Development of thermo



(写真1) ポスターセッションの様子

sensitive membranes for temperature swing filtering - cleaning system (温度スイングろ過-洗浄システムのための温度応答性膜の開発)」と題した口頭発表を行ってきました。多数のポスターセッションが並行して開催されていましたが(写真1)、全体として、医療や環境・エネルギー分野への関心が高く、研究が盛り上がりつつある印象を持ちました。発表の前まで英語の原稿と格闘していましたが、おいしい食事を囲んだ国内外の研究者との交流(写真2)はその辛さを忘れさせてくれました。また、学会の合間には、ゴールデンゲートブリッジまで足を伸ばし束の間の休息も楽しんできました。



(写真2) 共同研究グループとの夕食風景

## 「おもしろ理科実験教室」に岡部 勝教授が講師に



厚木市立上荻野小学校5年生と岡部勝教授

10月12日~13日の2日間、厚木市教育委員会主催の「おもしろ理科実験教室」に岡部 勝教授が講師として参加しました。実験教室の開催場所は厚木市立上荻野小学校で、5年生生徒57名と小学校教諭2名及び厚木市理科補助教員1名が出席し、両日とも午前9時から2時間30分間の授業と実験を行いました。実験テーマは、①「カラフルな人工イクラを作ろう」、②「水を吸う高分子で芳香剤を作ろう」の2つで、生徒達は自分の好みの色で「人工イクラ」や「キャビア」を作り、理科実験の面白さを体験していました。人工イクラはアルギン酸ナトリウムをカルシウム塩に変えて作り、芳香剤は高分子電解質(カルボン酸のナトリウム塩)に「匂いの素」を混ぜて作りました

